

マイクロモビリティの 短距離移動インフラ「LUUP」



「LUUP」は、「街じゅうを「駅前化」するインフラをつくる」をミッションに、マイクロモビリティのシェアリングサービスを提供しています。コンパクトな車両設計と、ラックいらずのポート設計により、ポートの超高密度化を実現。現在は、全国に15,000箇所以上のポート及び30,000台超の車両を提供しています。(2025年9月末時点)

株式会社Luup | 渉外部 池上翔 + 東日本事業推進部 高橋行也

Unimo ユニモ

より多くの方々の短距離移動課題解決を 目指す三輪・小型のユニバーサルカー

「特定小型原動機付自転車」 という車両区分

特定小型原付は、16歳以上であれば運転免許不要で乗車可能です。制限速度は公道通行時20km/h、一部の歩道や路側帯の通行時は6km/hです。そのため、地方部はもちろん都市部においても、高齢者の方など幅広い方々の短距離移動手段として、交通空白を埋める役割を担うことが期待されます。

幅広い世代が取り扱える 走行時・静止時の安定性

「リーンアシスト制御」は、車速とハンドル角等の情報に基づき、車体の傾斜角を制御することで、高い走行安定性を実現できる技術です。走行状況のデータをリアルタイムにキャッチし、それに応じて制御・アシストを行うことで、車両の姿勢を安定させます。そのため、年齢を問わず、安心して運転することができます。



大阪・関西万博で展示・デモンストレーションを実施



アイシンの「リーンアシスト制御」技術



今後の展望

「Unimo」の普及を通じて、日本全国の地域交通の課題解決に貢献していきたいと考えています。社会実装までには、さらなる安全性向上、自動運転技術の搭載や量産など様々な挑戦がありますが、まずはコンセプトモデルを通じて全国各地の様々な方々と対話・連携させていただくことで、前進させてまいります。今後、試乗会等を実施した上で、2026年度中を目標に複数地域で実証実験を行い、シェアリングサービスへの本格導入を検討していく方針です。

実証実験の実施等にご興味のある方は、
特設サイトよりお気軽にご連絡ください。



ルーダス

LUDAS

LUUP独自の危険行動検知システムに 基づく警告・ペナルティ制度

危険走行の検知対象



公園・広場等の走行

公園や広場等、道路以外の広い空間での走行が対象。名城公園等、名古屋でも開始しており、順次追加予定。



通行禁止道路の走行

法令等で通行が禁止された道路の走行が対象。新宿御苑トンネル等、東京都内6箇所から開始しており、順次追加予定。



大通りの逆走・逆側歩道走行

大通りでの逆走または逆側歩道走行が対象。山手通りの一部区間等、東京都内8箇所から開始しており、順次追加予定。

警察の取締りによらず交通違反や危険行為をLuup独自に検知

LUDAS[®]とは、LUUP利用者の危険な行動を検知するためにLuupが構築・運用するシステムの総称のことです。主に車両に搭載されたGPSで取得した利用者の移動経路データを用いて、利用者が対象の場所を走行したことを検知します。LUDASに

基づく警告・ペナルティ制度の導入により、警察の取締りによらず交通違反や危険行為をLuup独自に検知し、再発防止のために警告したり、ペナルティを科したりすることができるようになります。

※LUDAS = LUUP Dangerous Activity Detection Systems

